

🏠 市場価格

ドル建て ドル/toz

Platinum	Price	Date
Open	898.15	2023/9/11
High	932.46	2023/9/15
Low	894.92	2023/9/12
Close	929.55	2023/9/15

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4242.00	2023/9/11
High	4431.00	2023/9/15
Low	4227.00	2023/9/12
Close	4418.00	2023/9/15

ドル建て ドル/toz

Palladium	Price	Date
Open	1199.34	2023/9/11
High	1273.64	2023/9/15
Low	1194.43	2023/9/11
Close	1248.46	2023/9/15

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	5678.00	2023/9/11
High	6068.00	2023/9/15
Low	5661.00	2023/9/11
Close	5947.00	2023/9/15

📁 ニュースエクスプレス

プラチナ (Pt)、価格修正で買いを誘うか

プラチナ (Pt) は9月1日の底値からの修正サイクルの最中だが、その修正はダブルスリーとなるようだ。本稿ではプラチナの長期エリート変動の最新展望について述べる。同時に、2022年9月の底値 (803ドル) が破られた場合、2020年3月の底値からの修正よりも大きな修正となる可能性についても言及する。長いスパンで見るとプラチナは2020年3月の底値からの修正の動きよりも、より強気で大きなスーパーサイクルにある。

プラチナの月間エリートウエーブチャート



上のプラチナの月間エリートウエーブチャートを見ると、第2波 ((II)) は2020年1月の 562 ドルで終わり、その後第3波 ((III)) でより上昇した。第1波 (I) は第2波(II)よりも高く、1348ドルで終わった。ここからは明らかなる三回 (修正) のスイングを経て第2波 (II) は 796.8ドルで終わった。今後、第2波 (II) がダブル修正とならないためには、第1波 (I) を越えて 1348 ドルを破らなければならない。修正が 796.8ドルを越えて第1波 (II) より上を保てば、さらなる上昇は可能だろう。796.8 ドル以下に下げれば、次の上昇が始まる前に第2波 (II) はダブル修正になるだろう。

プラチナの日足エリートウエーブチャート



上のプラチナの日足エリートウエーブチャートを見ると、第2波 ((2)) で2022年9月1日の底値 (801.9ドル)からの修正で、ダブルスリーになるようである。801.9 ドルを破らなければ、バイヤーが現れ、上昇波が長くなるだろう。

<https://www.barchart.com/story/news/20157565/platinum-pl-pullback-should-find-buyers>

Translated by Kazuko OSAWA

田中貴金属工業、中国の成都光明派特貴金属と燃料電池用電極触媒製造技術に関する技術援助契約を締結

田中貴金属工業が、中国における燃料電池用電極触媒の生産体制を確立
～中国・成都光明派特貴金属有限公司との技術援助契約により、成長著しい中国の燃料電池市場にてカーボンニュートラルに貢献～

田中貴金属グループの中核の会社として産業用貴金属事業を展開する田中貴金属工業株式会社は、中国の関連会社である成都光明派特貴金属有限公司と、燃料電池用電極触媒製造技術に関する技術援助契約を締結したことを発表された。成都光明派特貴金属の子会社である雅安光明派特貴金属有限公司 (2024 年夏に本格稼働開始予定) の工場内に生産設備を設置し、2025 年には中国向け燃料電池用電極触媒の生産を開始する予定。燃料電池用電極触媒で世界トップクラスのシェアをもつ田中貴金属工業は、本締結により、田中 貴金属グループとして、増加する中国国内での燃料電池用電極触媒の需要に対応する。

【田中貴金属工業の燃料電池用電極触媒について】

現在、田中貴金属工業の淮南工場内の FC 触媒開発センターでは、固体高分子型燃料電池用 (以下、PEFC) と固体高分子型水電解用 (以下、PEWE) の電極触媒を開発・製造している。PEFC のカソード用に高活性・高耐久な白金触媒や白金合金触媒を、アノード用に耐一酸化炭素 (CO) 被毒特性に優れた白金合金触媒や OER 触媒、PEWE 用アノードには酸化イリジウム触媒を販売している。

PEFC は、燃料電池自動車 (以下、FCV) や家庭用燃料電池「エネファーム」などで使用されており、さらに今後は、バスやトラックのような商用車、フォークリフトなどの荷役自動車、建設重機、ロボットなどの産業機械、大型定置用途などで使用の拡大が期待されている。PEFC は小型軽量で高出力を発揮でき、水素と酸素の化学反応を利用した、これからの地球環境にとって重要な発電デバイスである。

燃料電池の本格普及における大きな課題は、使用する白金のコストである。田中貴金属工業では、40 年以上に渡り貴金属触媒の研究を続けており、高性能・高耐久を追求しながら少貴金属化を実現する触媒を開発してきた。現在では、新たな担体材料の検討、触媒の後処理方法の検討、より高い活性の金属種の開発を通じて燃料電池にさらに適した触媒を開発している。

https://www.nikkei.com/article/DGKZRP661937_S3A910C000000/

📢 WPIC直近の活動

WPICは、2023年第2四半期の四半期レポートを発表した。2023年第2四半期の供給不足は、自動車・工業・投資需要の伸びを反映して10.8トンに増加。2023年の最新予測として、需要増と供給減でプラチナ市場は31.3トンの供給不足に。詳しくは添付の「2023年Q2 プラチナ四半期レポート」をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>

国際エネルギー機関 (IEA)によると、グリーン水素需要で水電解装置の生産能力、発電能力ともに拡大。水素関連のプラチナ需要はまだ比較的小さいが、中期的には大きく成長するとされ、2030年までには重要なプラチナ需要の分野の一つとなるだろう。そして2040年までには最大の需要分野にまで拡大する可能性もある。詳しくは添付の「[プラチナ互知識—ギガワット成長](https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/09/14)」をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2023/09/14>



📘 (www.wpic.org)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資推奨を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。